

【出演者プロフィール】

パネリスト



佐渡農業協同組合 営農振興部長
磯部 健一郎
(いそべ けんいちろう) 氏
1996年に佐渡農業協同組合に入組し、
営農指導員(果樹園芸担当)、園芸振
興課長、営農事業部副部長を経て2022
年5月より営農振興部長に就任。



佐渡市役所
農林水産部農業政策課トキ・里山振興係
五十嵐 麻湖(いからし まこ) 氏
世界農業遺産の要素である朱鷺認証米
や生物多様性、ユース世代への普及業
務に従事。2021年4月から現職。

テーマ別セッション2

「ネイチャーポジティブの 実現に向けた地域づくり」

パネリスト



共同通信社編集委員
井田 徹治(いだ てつじ) 氏
共同通信社の記者として環境問題
をライフワークに世界各地を取材。
2010年4月から現職。



(株) 第四北越銀行コンサルティング事業部
上級コンサルタント
田中 幸二(たなか こうじ) 氏
2022年7月から第四北越銀行佐渡
ブロック専任として佐渡に駐在。
脱炭素・観光をはじめとした佐渡
の発展支援に取り組む。



佐渡潜水(株) 取締役会長
正司 正(しょうじ ただし) 氏
佐渡の海に潜り40年。磯焼け対策事業や
加茂湖のアマモ再生など海の森づくりに
長年たずさわる。佐渡ワカメや佐渡コン
ブの養殖事業を通じてブルーカーボンの
推進を図っている。



自立分散型コミュニティ
「イケベジ」共同創設者
本間 涼(ほんま りょう) 氏
東京でプロデュース業、佐渡で
農業に従事。

コーディネーター



新潟大学佐渡自然共生科学センター准教授
豊田 光世(とよだ みつよ) 氏
米国大学院で環境倫理と哲学対話の研究に従事。
東京工業大学博士課程にて、佐渡をフィールドに
トキとの共生をめぐる合意形成について研究。兵
庫県立大学環境人間学部講師、東京工業大学グロ
ーバルリーダー教育院特任准教授を経て、2015年
9月より現職。



(株) NTTデータ 社会DX推進室長
松本 良平(まつもと りょうへい) 氏
政府ITシステムのコンサルティング、
プロジェクトリーダーに従事。現在、
社会課題解決のためのDXに取り組む。



尾畑酒造(株) 専務取締役
尾畑 留美子(おばた るみこ) 氏
「真野鶴」五代目蔵元。廃校再生の学校
蔵で酒造りに取り組む。The Japan Times
社のSATOYAMA大賞受賞。



アテレビの会 事務局
明田川 晋(あけたがわ すすむ) 氏
三条市出身。平成7年より佐和田に定住。2021年
3月末まで新潟県の森林・林業行政に従事し、
林政課長を最後に退職。2001年からアテレビの会に
入会し、佐渡市の木「アテレビ」の普及活動に取り
組む。



佐渡市役所
企画財政部総合政策課SDGs推進主幹
丸山 祐一(まるやま ゆういち) 氏
1995年日本電信電話株式会社入社。主に
企業、自治体への法人営業に従事。2022
年7月より佐渡市総合政策課に従事。

第5回佐渡未来講座

ネイチャーポジティブ (Nature Positive) シンポジウム

佐渡島SDGs・生物多様性 保全はグローバルビジネスの時代へ

～世界的な潮流を学び、持続可能な島の未来を導くために～



佐渡市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

日時 2022年10月23日

9:00~13:00(8:30開場)

会場 佐渡島開発総合センター 3階ホール
(佐渡市両津湊198番地)

主催/佐渡市 共催/公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)、新潟大学

後援/環境省、農林水産省、金融庁、新潟県、長岡技術科学大学、上智大学、株式会社NTTデータ、
株式会社第四北越銀行、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社、明治安田生命保険相互会社、
MS & A Dインシュアランスグループホールディングス (三井住友海上・MS 関東甲信越)、
佐渡地域世界農業遺産推進協議会

【出演者プロフィール】

【開催趣旨】

「ネイチャーポジティブ (Nature Positive)」とは、生物多様性の減少傾向を食い止め、自然をプラスに増やしていくことを指します。昨年6月にはTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）が発足し、また、10月に開催された国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）閣僚級会合では、「遅くとも2030年までに生物多様性の損失を逆転させ回復させる」と、ネイチャーポジティブの考え方が取り入れるなど、生物多様性保全の取組は、世界中で急速に関心が高まっています。

佐渡市では、社会・環境等に適応しながら形成された農業や生物多様性の確保、またそれらとともに育まれてきた文化・景観を継承することを目的とした世界農業遺産（GIAHS）の認定から昨年10年目を迎えましたが、トキの放鳥を契機にこれまで島で取り組んできた生き物を育む農法の普及・拡大、多世代が一緒になって挑戦する島づくり、伝統芸能を継承する仕組みづくりなどの課題も多く残っています。

一方、2050年までにCO2の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンアイランド」の実現を目指すことを2020年に宣言した佐渡市は、本年4月には環境省の「脱炭素先行地域」に、5月には内閣府の「SDGs未来都市」に選定されました。ローカルSDGsとも言われる「地域循環共生圏」の実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大により地域経済の循環を創出する「脱炭素社会」、人材・外貨獲得と島内循環で付加価値化を図る「人材創出社会」、自然資源や生態系サービスにより地域経済を活性化させる「生物多様性社会」、さらには世界文化遺産を目指す佐渡金銀山をはじめ、佐渡独自の多様な歴史・文化、自然などを活かした交流促進や文化保全に繋ぐ「歴史文化継承社会」、これらの仕組みづくり、島の持続可能性を高めるために産官学金連携で取り組んでいるところです。

本シンポジウムでは、絶滅したトキの野生復帰を果たし、生物多様性の保全に取り組む離島佐渡から、ネイチャーポジティブの考え方を取り入れた「佐渡モデル」を世界に発信するため、最新の国内外の動向について学識者から貴重なご講演を賜りつつ、テーマ別セッションでは、ネイチャーポジティブの先行事例の考察、理念条例やネットワークづくりの必要性など、佐渡での実現に向けて島内外の企業や専門家等からパネリストを招いて論議し、佐渡の未来づくりを全島で考える「佐渡未来講座」として開催します。

【プログラム】

9:00	開 会 挨拶	佐渡市長 渡辺 竜五 新潟大学 学長 牛木 辰男
9:20	特別メッセージ	環境大臣 西村 明宏 氏 農林水産副大臣 勝俣 孝明 氏 新潟県知事 花角 英世 氏
9:30	基 調 講 演 1	「生物多様性を巡る世界の流れ -2022年12月開催の生物多様性条約第15回締約国会議も踏まえて-」
10:00	基 調 講 演 2	「ネイチャーポジティブとビジネスに関する国内外の動き」
10:30		～休憩（10分）～
10:40	テーマ別セッション1	「世界農業遺産（GIAHS）を活かした生態系サービスの最適化と地域の戦略」
11:50	テーマ別セッション2	「ネイチャーポジティブの実現に向けた地域づくり」
12:50	ネイチャーポジティブ宣言	佐渡市長 渡辺 竜五
12:55	記 念 撮 影	
13:00	閉 会	

※適宜、換気や休憩を入れます。

基調講演



1 「生物多様性を巡る世界の流れ -2022年12月開催の生物多様性条約第15回締約国会議も踏まえて-」

講師 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）理事長
武内 和彦（たけうち かずひこ）氏

農学博士。東京大学未来ビジョン研究センター特任教授などを兼任。専門は自然環境学、サステナビリティ学。前中央環境審議会会長として第五次環境基本計画を主導し、SDGsをローカル化するための「地域循環共生圏」の概念と手法をとりまとめる。



2 「ネイチャーポジティブとビジネスに関する国内外の動き」

講師 一般財団法人持続性推進機構 理事長、元環境事務次官
佐渡市総合戦略アドバイザー
森本 英香（もりもと ひでか）氏

法学士・政治学士。早稲田大学法学部教授など兼任。専門は環境法や環境政策論。環境省や原子力規制委員会の設立、福島復興・再生、水俣病・アスベスト被害対策、海洋プラスチック等循環資源対策等に携わる。『里地からの変革』（共著1995年）。2021年9月から佐渡市総合戦略アドバイザー。

テーマ別セッション1

テーマ「世界農業遺産（GIAHS） を活かした生態系サービスの 最適化と地域の戦略」

パネリスト



大崎市世界農業遺産推進課
自然環境専門員
三宅 源行（みやけ もとゆき）氏
世界農業遺産申請および認定後の生物多様性の保全、普及啓発業務に従事。



東北大学 大学院生命科学研究科教授
／日経BP 日経ESGシニアエディター
藤田 香（ふじた かおり）氏
生物多様性・自然資本とビジネスや地域創生などの取材執筆・研究に従事。佐渡市生物多様性佐渡戦略推進会議委員。

コーディネーター



新潟大学農学部教授
佐渡市生物多様性佐渡戦略推進会議委員長
関島 恒夫（せきじま つねお）氏
博士（農学）。専門は動物生態学、保全生物学、生理生態学。経済産業省環境審査顧問、環境省環境影響審査助言委員など、発電アセスに係る国の環境影響評価に携わるとともに、鳥類に対する風力発電の影響低減に関する研究を進めている。



地球環境戦略研究機関（IGES）
上席研究員
齊藤 修（さいとう おさむ）氏
国内外の生物多様性と生態系サービスの評価・管理を通じた持続可能な社会構築に向けた研究に従事。



上智大学
地球環境学研究科教授
黄 光偉（ホアン グアンウェイ）氏
水環境を中心にサステナビリティ教育と研究に取り組む。